

(5) 記入例と作成上の留意点

1) 様式1号

【障害の程度】

- ・医師による診断を参考に、障害の程度が分かる病名や障害名を記入する。
- ・各種手帳を所持している場合は、手帳の名称及び等級を記入する。

青森県教育委員会 教育長 版

【氏名】【性別】【生年月日】【現住所】

- ・学齢簿に記載されているとおり、正確に記入する。
- ・なお、アパート等に居住する場合は、詳細を記入する。

【施設名】

- ・新入学は幼稚園等名、小・中学校は学校名を記入する。

【職業・勤務先】
【電話番号】

- ・確認の上、記入する。

六 人 保 護 者	ふりがな氏名	性別	生年月日	現住所	施設名 (左箱学校学年)	就学の継 続・免除
	あおもの たろう 青森 太郎	男	平成20年 1月1日	〒030-0000 青森市青森1丁目1-1 青森市A号棟1号室	あおもの幼稚園	年 月 日 ~ 年 月 日
保 護 者	ふりがな氏名	(本人の続柄) 続 柄		現住所	職 業・ 勤 務 先	通 信 先 の 電 話 番 号
	あおもの ひろし 青森 二郎	父		〒030-0000 青森市青森1丁目1-1 青森市A号棟1号室	会社員 青森建設株式会社	017-777-7777
障害の種類				職 業 の 保 護 度		
肢体不自由				聴覚まひによる両上肢機能の全廃 身体障害者手帳1種1級		
入 学 希 望	入学を希望する学校		通信舎入舎希望・施設入所手続状況		在 宅 訪 問 教 育 の 希 望	
	青森県立青森第一養護学校		特別支援学校入学者 について通信舎入舎 の希望の有無		特別支援学校入学者 について児童福祉施 設	
希望入学原日						
平成26年4月1日		右・㊦				
備 考						

【備考】

- ・重複障害者であって複数の就学先が対象となる場合、市町村就学指導委員会等の答申と市町村教育委員会の決定が異なった場合など、その判断理由を具体的に記載する。
- ・別紙（様式任意）としても差し支えありません。

※ 添付書類

- 1 学齢簿写本
- 2 市町村教育委員会が判断の参考とした資料の写し又はこれに代わる書類
- 3 教育支援に関する調査票（様式2号を参考のこと）
- 4 在宅訪問教育を希望する場合は付記の略図

2) 様式 2 号

【教育支援に関する調査票（保護者用）】

- ・保護者による記入を原則とする。
- ・聞き取りに基づき市町村担当者等が記入する場合は、保護者への説明を行い、了解を得る。

教育支援に関する調査票（保護者用）

市町村教育委員会名	◎◎町教育委員会	No.	001
		作成年月日	H**.*.*.**

【通院歴】【相談歴】【教育歴】

- ・直近のものを3つまで記入する。

性別	男	在籍学校等名	●●●●幼稚園
	女	学年等	さくら組（年長）

既往歴 （記入する）	病名等	期 間	アレルギがある	その他（アトピー）
	アトピー性皮膚炎	**年 **月～ **年 **月 年 上～ 年 月 年 上～ 年 月		●●皮膚科
現在受けている 治療等	障害者手帳	無 有	通院（身体的・知的・精神的）	取得年月日（年 月 日）
	補装具使用	無 有	通院（身体的・知的・精神的）	取得年月日（年 月 日）
	医療的ケア	無 有	内容（吸引 経管 その他）	

【学校見学、体験入学の実施】

- ・実施の有無について記入する。
- ・特別支援学校については、学校名を記入する。

2. 保護者に関すること

ふりかき
保護者名

●●●●●

現住所

〒****-** ◎◎町大字◎◎字◎◎*番地の*

3. 相談や教育に関すること

相談歴	期 間	相談機関等名
	**年 **月～ **年 **月	◎◎町立◎◎小学校ことばの教室
	**年 **月～ **年 **月	◎◎町保健センター育児相談
	**年 **月～ **年 **月	地区就学相談・教育相談会
教育歴	期 間	園・学校等名
	**年 **月～ **年 **月	◎◎幼稚園
	年 上～ 年 月	
	年 上～ 年 月	

4. 教育支援に関する本人及び保護者の意向に関すること

【希望する学校等】

1. 小・中学校の通常の学級 2. 特別支援学級 3. 通級による指導 4. 特別支援学校

【希望する理由】

現在一緒に通っている子供たちと一緒に地域の学校に通わせたい、やってみて、どうしても大変そうならば、特別支援学級でも仕方がない。その場合でも、できるだけ他の友達と活動する時間を確保してほしい。

【通学方法】

1. 徒歩 2. 路線バス等 3. 送迎サービス 4. 保護者送迎 5. 寄宿舎 6. スクールバス等 7. 体験入学 8. 訪問教育

【交流及び共同学習の実施希望】

特別支援学級に在籍するのであれば、できるだけ実施してほしい。

【教育支援の内容に関する希望】

突発的な行動をすることがあるので、できるだけ目をかけてほしい。
できることはできるだけ本人にやらせて、他の子と同じように教育してほしい。

【学校見学の要否】

無
有（小・中学校（通常学級 通級指導教室 特別支援学級）
特別支援学校（学校名）

【体験入学の要否】

無
有（学校名（
特別支援学校（学校名）

【希望する学校、通学方法、交流及び共同学習の実施希望、教育支援の内容に関する希望】

- ・該当するものを記入する。
- ・希望する理由や方法、内容などについて、できるだけ具体的に記入する。

【教育支援に関する調査票（学校・福祉施設等用）】

- ・学級担任、担当職員による記入をもとに、必要に応じて校内委員会等による審議を行うなどして、最終的には所属長の責任において作成する。

教育支援に関する調査票（学校・福祉施設等用）

〒000000 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号 札幌市教育委員会 〇〇〇〇教育委員会

No.	001
作成年月日	H**.**.**
施設種別	●●●●幼稚園
施設名	さくら組（年長）

【本人の状況】

- ・それぞれの項目ごとに、特徴的なことを記入する。
- ・所見や解釈ではなく、具体的な事実を記入する。

1. 本人の状況

項目	学校・福祉施設等での様子
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・マークや漢字に興味がある。 ・平仮名を読むことができ、自分の名前や興味のあるものの名前を書くことができる。 ・1～20までを続けて言うことができる。対応関係の理解は、まだあやしい。 ・着眼点が面白く、他の子が気づかないようなことに気づくことが多い。 ・伴奏に合わせて歌ったり、打楽器を鳴らしたりすることができる。
運動面	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこが得意だが、合図でスタートをする、線に沿って走るなど、ルールを守ることが難しい。 ・はさみの使い方にぎこちなさがある。線をはみ出して切ることがある。
行動面	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな物（車、車のおもちゃ）を見ると、読み聞かせや制作の途中であっても向かっていく。 ・園の外に出ることがあり、必ず見守り用の保育士を付けて対応していた。 ・進んで手伝いをするが、最後までやり遂げることができない。 ・褒められると何度でも同じことをしようとする。
コミュニケーション面	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉によるやりとりができ、「いいですか？」と確認をすると「はい」と元氣よく返事をするができる。 ・約束に「はい」と返事をするができるが、守ることができない。 ・話しかけても、ぼーっとしていて反応しないことがある。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自分よりも小さい子のお世話をすることが好きである。 ・年中の頃、飛び出しにより自動車に接触する事故に遭ったことがある。

【教育支援の内容】

- ・指導場面における具体的な手立てと当該児の変容について、記入する。

2. 教育支援の内容

学習については特に問題はありません。
 しかし、集中力が欠けるところがあるため、一つの課題に長い時間をかけて取り組ませるのではなく、短い時間でできる課題をたくさん用意する方が効果的であると考えます。また、褒められることが好きなため、目に見える形（好きな車のシール）にして褒めると、少し長い時間課題に取り組むことができました。
 自分の好きな物（主に、車）を見つけると、活動の途中であっても止めて好きな物に向かっていくことが頻繁に見られました。そのため、散歩などの園外での活動時には、本児対応の保育士を配置し、安全の確保に努めました。集団保育場面でも度々集団から外れることがあるため、本児対応の保育士と別メニューを行ってきました。

3. 入学・転学に関する所見

上記のことから、当面は個別の対応が必要なお子さんではないかと考えます。

学校・福祉施設名

〇〇幼稚園

学校・福祉施設長名

〇〇 〇〇

印

【入学・転学に関する所見】

- ・本人や保護者の意向を前提とした所見ではなく、「2. 教育支援の内容」を踏まえ、当該児に対し現に教育（保育）等を行っている機関としての所見を記入する。
- ・学校種等（通常学級、特別支援学級、特別支援学校等）や障害種別（視覚障害、自閉症・情緒障害学級等）の妥当性に関する表記については、根拠とする理由を併記するなど慎重に行う。

【教育支援に関する調査票（専門員用）】

- ・当該児の教育機関等以外に所属する専門調査員等が記入する。
- ・就学先の検討において必要な情報について、専門的な観点から明示する。
- ・就学先の妥当性等を示すことは馴染まない。

教育支援に関する調査票（専門員等用）

【発達や生活の状況】

- ・診断等の事実及び観察に基づき記入する。
- ・障害名や診断名にとらわれることなく、観察した事実に基づいて記入する。

【特記事項】

- ・行動上、特記すべきものを項目別に記入する。
- ・病名や診断名によらず、「行動上の特性」との観点から観察、記入する。

1. 行動観察

観点	発達や生活の状況			特記事項
見え方	診断有り	長所	特になし	
見え方	<input type="checkbox"/> 診断有り	<input checked="" type="checkbox"/> 要配慮	<input type="checkbox"/> 特になし	呼んでもボーッとして反応しないことがある。音楽遊びでは、伴奏に合わせて歌を歌うことができる。相手が話している中でも、思いつくと話し出す。 突発的に走り出すことがある。 アトピー性皮膚炎、アレルギー。 突発的に走り出すことがある。 好きな玩具（ブランコ）遊びでは、順番を守ることが難しい。 好きなもの（車）を見つけると瞳も振らず走って行く。
聞こえ方	<input type="checkbox"/> 診断有り	<input checked="" type="checkbox"/> 要配慮	<input type="checkbox"/> 特になし	
コミュニケーション（意思疎通）	<input type="checkbox"/> 困難	<input checked="" type="checkbox"/> 長所	<input type="checkbox"/> 特になし	
基本的な生活習慣	<input type="checkbox"/> 全面介助	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし	
身体運動（歩行）	<input type="checkbox"/> 全面介助	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし	
身体運動（筆記）	<input type="checkbox"/> 全面介助	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし	
健康状態	<input type="checkbox"/> 要管理	<input checked="" type="checkbox"/> 一部管理	<input type="checkbox"/> 特になし	
	<input type="checkbox"/> 困難	<input checked="" type="checkbox"/> 要配慮	<input type="checkbox"/> 特になし	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害	<input type="checkbox"/> 要配慮	<input type="checkbox"/> 特になし	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害	<input type="checkbox"/> 要配慮	<input type="checkbox"/> 特になし	

【諸検査の結果】

- ・直近のものを3つまで記入する。

2. 諸検査の結果

検査の名称	実施日等	結果	検査の所属氏名
WISC-IV	**年 **月 **日 満 6 歳 2 月	FSIQ: 95 VCI:100 PRI:102 WMI:89 PSI:95	◎◎町教育支援委員会専門員 ○○ ○○
DN-CAS	**年 **月 **日 満 6 歳 3 月	標準得点 92 「プランニング」80、同時処理 100、注意 75、継次処理 98	県総合学校教育センター指導主事 ○○○○
	年 月 日 満 歳 月		

3. 行動観察及び諸検査の結果を踏まえた本人の全体像

知的発達に遅れは認められず、身辺処理面も問題はない。
コミュニケーション面に課題があり、呼びかけても反応しないことが度々見られたり、集団場面においても周囲の状況に関係なく思いついたら突発的に話し出すことが見られたりする。
聴覚機能的な問題ではない。

4. 教育支援に関する配慮事項

本来注目すべきことに注意を向けることの弱さや、危険を回避する力が弱いことに加え、思いつくままに行動する傾向が顕著であり、集団活動場面においては個別の配慮を要する。

作成者市属・職・氏名 ◎◎町教育支援委員会専門員 (◎◎◎立◎◎学校) 教諭 ◎◎ ◎◎

【行動観察及び諸検査の結果を踏まえた本人の全体像】

- ・「1. 行動観察」「2. 諸検査の結果」に基づき、本人の行動特性がわかるように記入する。

【教育支援に関する配慮事項】

- ・学習場面などを想定し、活動や参加をするための具体的な手立てなどを記入する。

【教育支援に関する調査票（医師用）】

- 主治医、市町村教育支援委員会等の委員である医師などが記入する。
- 診断名及び教育活動における医療的な配慮事項について記入する。

教育支援に関する調査票（医師用）

市町村教育委員会名	◎◎町教育委員会	No.	001
ふりがな	作成年月日	H**、**、**
氏名	●● ●●	在籍学校等名	●●●●幼稚園
性別	男 女	学年等	さくら組（年長）

1. 障害や病気の診断

ADHDの疑い
知的発達の遅れは認められない

2. 学校での教育活動における医療的な配慮事項に関する所見

薬の飲用を開始した場合は、服薬管理が必要である。
帰属意識の育成を図るため、役割を与え、他者からの評価を得る機会を設定するなどの教育的な配慮が必要である。

【学校での教育活動における医療的な配慮事項に関する所見】

- 学習活動における禁忌、留意事項を記入する。
- 本人が学習活動に参加するために必要となる病気や障害の状態に関する医療的な配慮事項を具体的に記入する。
- 就学先に関する事項（具体的な学校名等）は記入しない。

医師・氏名

◎◎病院 小児精神科 ◎◎ ◎◎

【教育支援に関する調査票（市町村教育委員会用）】

- ・本人へ教育支援を提供する立場、小・中学校を所管する立場から記入する。
- ・教育支援委員会等を所掌する事務局としての立場からではないことに留意する。
- ・「相談支援ファイル」等を活用することにより、保護者との相談経過の共有に留意する。

教育支援に関する調査票（市町村教育委員会用）

市町村教育委員会名	◎◎
担当者職・氏名	主査
ふりがな
氏名	●● ●●
別	支
予	中
学	空
さくら組（年長）	

【本人・保護者への情報提供に関する記録】

- ・市町村教育委員会が行った教育相談やガイダンスにおいて提供した情報や確認、合意した事項を記入する。

1. 本人・保護者への情報提供に関する記録

期 日	説明内容	教育的コース及び合意事項等
**年 **月 **日	町内の小学校と近隣の特別支援学校について	・学区小学校の通常学級、町内の特別支援学級、近隣の特別支援学校それぞれにおける教育内容について説明し、保護者の理解を得た。
**年 **月 **日	就学先決定の流れについて	・就学時受診、教育相談、教育支援委員会の日程と、意見聴取の方法を確認した。 ・保護者の意見が最大限尊重されることは理解された。
**年 **月 **日	就学後の体制について	・学区小学校に就学した場合の学校の指導体制について説明し、理解を得たが、保護者の付添等の具体的な内容の話し合いは継続する。 ・夏期休業中に、学校を交えた話し合いを行う。
年 月 日		
年 月 日		

2. 就学（転学）先及び教育支援の内容に関する所見

【入学・転学が適当である学校等】

1. 小・中学校の通常学級 2. 特別支援学級 3. 通級による指導 4. 特別支援学校

【理由】

知的発達の遅れがなく、心理面やコミュニケーション面における個別の配慮により、通常学級での学習に参加することができる。

ただし、対人関係面については、町内の通級指導教室における自立活動の指導が必要である。

【交流及び共同学習の実施】

特に行わないが、保護者の希望があれば検討する。

【教育支援の内容に関する事項：合理的配慮】

注意の持続に配慮し、座席配置に配慮するとともに、学習内容を分割して適切な量にするなど必要な変更と調整を行う。また、学期ごとに校内支援委員会において評価、修正する。

学級担任及び学習支援員など日常的に指導に当たる教職員は、衝動的な行動の軽減や自己肯定感の維持など心理面に配慮する。

【教育支援の内容に関する事項：基礎的環境整備】

教室内のほか校内で活動する場所には、視覚的に分かりやすい掲示とするなど、情報を整理して提供する。

災害時の支援体制について、校内で共有する。

【就学（転学）先及び教育支援の内容に関する所見】

- ・市町村教育委員会としての判断に基づき記入する。この際、教育支援委員会等における審議で取り扱われる所見である（最終決定ではない）ことに留意する。